

# 平成 22 年度事業報告書

## 1 . リハビリテーションの振興・調査研究 ( 35,087 千円 )

障害者の自立、社会参加、生活の質(QOL)の向上を図るため、障害者の保健福祉に関わる研究等を、次のとおり実施した。

- ( 1 ) 調査研究事業の推進
- ( 2 ) 日本障害フォーラム(JDF)への参加と協力
- ( 3 ) 障害者放送協議会への参加と協力

## 2 . 国際協力・交流 ( 98,710 千円 )

2006 年、国連で採決された「障害者の権利条約」への批准国は増え、我が国でも検討が行われている。

また、第二次「アジア太平洋障害者の十年」(2003-2012)は、来年に最終年を迎える。当協会は、国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)事業と各国への協力をはかりながら、国際リハビリテーション協会(RI)、アジア太平洋障害フォーラム(APDF)、日本障害フォーラム(JDF)とも連携を密にし、国際協力・交流を積極的に促進し、次の事業を実施した。

- ( 1 ) 第二次「アジア太平洋障害者の十年」関係事業
- ( 2 ) RI(Rehabilitation International = 国際リハビリテーション協会)への参加
- ( 3 ) 国際協力・交流プロジェクトの推進
- ( 4 ) 国際研修事業

## 3 . 情報収集・提供 ( 105,609 千円 )

障害者の自立と社会参加、QOL向上を図る上で必要不可欠な情報の入手・コミュニケーション推進に資するため、次の事業を実施した。

- ( 1 ) 障害者の情報活用推進事業
- ( 2 ) DAISY(Digital Accessible Information System)の開発普及推進事業
- ( 3 ) 出版事業等